

平成 26 年度 第 2 回 横浜市都筑公会堂指定管理者選定委員会	
日 時	平成 26 年 8 月 20 日 (水) 9 時 30 分～14 時 00 分
開 催 場 所	都筑区総合庁舎 5 階 第 1 会議室
出 席 者	安藤委員、辻田委員、中村委員、村田委員、吉川委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 (傍聴者 13 人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数確認 2 会議の公開について 3 申請状況について 4 面接審査の実施について 5 面接審査 6 採点審査
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数確認 委員全員出席。委員会は有効に成立。 2 会議の公開について 面接審査は公開とし、採点審査は非公開とする。 3 申請状況について 3 団体の応募があった。 3 団体ともに、欠格事項には該当しないことを確認済み。 4 面接審査の実施について 応募団体による 15 分間のプレゼンテーションの後、15 分間の質疑応答を行うことを確認。 5 面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) メックス・JSS 共同事業体 (2) 横浜都市みらい・新都市ライフ共同事業体 (3) 東急コミュニティー・コンベンションリンケージ共同事業体 6 採点審査 横浜市都筑公会堂第 2 期指定管理者の候補者及び次点候補者を次のとおり選定した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指定候補者は、530 点の「横浜都市みらい・新都市ライフ共同事業体」 (2) 次点候補者は、524 点の「メックス・JSS 共同事業体」
委員意見等	<p>議題 5 面接審査 (応募団体ごとの主な質疑応答)</p> <p>1 メックス・JSS 共同事業体 (委員) 平成 27 年度の収入見込みについて、附属設備・備品使用料が過年度実績に比べてかなり高い見込みとなっているが、どう考えているのか。</p>

(応募団体) 舞台技術者の設置により、貸出備品を利用者にPRし、収入増を目指していくつもりであるため、実績より多く見込んでいる。

(委員) 和室の稼働率向上の取組、町内会加入等の提案がなされているが、他施設での実績はあるのか。

(応募団体) 他施設でも自主事業の経験があり、その中でも寄席は、定員を超える応募がある。その他にも区内の指導者を招いて教室等を実施したいと考えている。空いている部屋は有効に活用したい。

(委員) ホームページの作成費用は、支出の部内訳のどの部分に計上されているのか。

(応募団体) チラシ・リーフレット作成の部分で見込んでいる。

(委員) 同じく24時間監視の費用はどこで見込んでいるのか。コストがかなりかかるのではないか。

(応募団体) 導入の費用は電話回線の接続費のみ。支出の部の通信費で回線の接続費を見込んでいる。監視センターには常に職員がいる。

(委員) 監視自体の費用は、事業体本体で負担するということか。

(応募団体) そのとおり。

(委員) チラシ・パンフレットの作成は、具体的にどのような内容を想定しているのか。公会堂自体のPRなのか。自主事業のPRなのか。

(応募団体) 両方のPRを想定している。まずは館自体の認知度を上げたい。その後、自主事業も含めてのPRを行っていきたい。

2 横浜都市みらい・新都市ライフ共同事業体

(委員) 人員が現指定管理者の体制より1名少ない提案となっているようだが、サービスの低下を招かないために、どのように対応しようと考えているのか。

(応募団体) 専門技術マネージャーを非常勤で配置することで舞台利用に関するサービスの維持向上を図る。近隣にある本社も全面的にバックアップする予定である。

(委員) 収入の項目に「スタッフ受注」とあるがこれは何か。専門業者への取次を行うとあるが、その収入も見込まれているのか。

(応募団体) 「スタッフ受注」は、利用者からの依頼によりホール関連支援サービス等を行った際の受託収入。利用者からの要望があれば、利用者サービスとして実施していきたい。

単なる業者の紹介を求められた場合は、無償で情報提供する予定。業者との仲介を求められた場合は、事務手数料をいただく。

(委員) 職員のマルチスキル化で少ない人員でも対応できると理解したが、一方で職員が辞めた際のリスクが高くなるのではないか。

(応募団体) マルチスキル化は、単純に公会堂職員としての能力向上を目指すため

に取り組んでいくもので、利用者の問合せ等に対し、どの職員でも対応ができるよう取り組んでいく。

(委員) 公会堂は、有事の際の帰宅困難者受入施設として、当然区でも備蓄は行うと思うが、指定管理者として独自に準備を行う計画はあるか。

(応募団体) 災害時等に必要な救急用具は、当然に整備する。

(委員) 応募団体が管理する近隣の商業施設との連携とは具体的にどのようなものを想定しているか。

(応募団体) 近隣の商業施設で、公会堂利用の余韻を楽しんでもらいたいと思っているので、駐車場の割引サービス等を検討している。

3 東急コミュニティー・コンベンションリンクージ共同事業体

(委員) 事業計画書に記載されている横浜市民を対象としたアンケートは、どのようにアンケートをとったのか。

(応募団体) 公会堂に関係のない当社の横浜市在住の社員にアンケートを行った。

(委員) その手法では、「社員」アンケートになってしまうのではないか。「横浜市民」という表現だと妥当性に欠けるのではないか。

(委員) 現在の都筑公会堂ホームページを拝見したが、かなりシンプルで、提案されているブログの追加だけでは、魅力アップには足りないように感じるが、広報についてはどのように考えているのか。

(応募団体) シンプルではあるが、空き室情報など必要な情報は確実に掲載している。それに加える形でブログを開設する予定。第1期で好評だったワンストップサービスについても、ホームページ等でさらに広報していく予定である。

(委員) 利用者数が減少傾向にあるが、原因はどこにあると分析しているか。

(応募団体) 平成24、25年度にホールの改修工事が行われたことにより、利用者数が減少している。

(委員) 平成24、25年度で工事が行われた2月、3月を除いた10か月で比較しても減少傾向にある。

(応募団体) 利用者数は、主催者の申告によって集計しており、厳密な集計はできていない一面もある。一方で稼働率は利用傾向の目安となっている。

(委員) 稼働率も減少傾向にあるが、原因分析はどうか。利用団体の傾向に変化があった等、心当たりはあるか。

(応募団体) 利用団体が減少したということはない。

都筑公会堂は、市内でもホール稼働率が高いため、ホールの稼働率を上昇させるのは難しい。比較的稼働率の低い和室等で稼働率を上げていく計画である。書道教室等の開催によって、新たな利用者を獲得していきたい。

(委員) 和室の稼働率は都筑公会堂だけでなく、一般的な課題だと言える。他

施設の運営の中で画期的な取組や実績はあるか。
(応募団体) 他施設で書道教室を実施したことがあり、好評であった。こういった事業をきっかけに公会堂に親しみを持ってもらいたい。稼働の少ない曜日、時間に利用できる団体にも広報していきたい。

選定委員会講評

いずれの団体も水準の高い提案であった。

【横浜都市みらい・新都市ライフ共同事業体】

- ・施設の安心・安全な管理運営や利用促進に加え、団体の地元ネットワークやノウハウを活かした「まちづくり」という視点での提案内容が新しく、期待度が高い。
- ・専門技術者の配置を行う提案や近隣にある本社からの支援などにより、業務体制も信頼できる。
- ・自主事業の提案がバラエティに富んでおり、期待できる。

【メックス・JSS 共同事業体】

- ・豊富な実績、経験があり、高い専門性を持ったサービスの提供が期待できる。
- ・避難訓練を取り入れた自主事業や講堂の利用時間区分を変更する提案等、ユニークな提案が多かった。
- ・利用料金収入について、実績より高く見込んでおり、実現可能性に不安がある。

【東急コミュニティー・コンベンションリンクージ共同事業体】

- ・現指定管理者として安定した管理運営実績を残している。
- ・稼働率の減少等、現指定管理期間中の分析が不足しているように感じた。
- ・現指定期間中の分析を踏まえた第2期目の具体的な施策へのアピールが少なかった。目新しい提案が少なかった。

そ の 他